



St. Luke's International University Chapel

聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂

〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 TEL 03-5550-2416 (事務室)

E-mail : chapel@luke.ac.jp URL <http://nssk.org/tokyo/church/luke>

マルコ福音書 3:20-35(聖霊降臨後第3主日、24/06/09)

「青い鳥」

チャプレン ヨナ 成成鍾司祭

ベルギーの劇作家モーリス・メーテルリンク(Maurice Maeterlinck, 1862-1949)の『青い鳥』という童話劇があります。チルチルとミチル兄妹が幸せを呼ぶと言われる青い鳥を探しに旅に出ます。色々な国で青い鳥を見つけて持ち帰ろうとしましたが皆途中で死んでしまいました。結局、冒険しながら青い鳥を探し求めたものの、捕まえられず家に戻ってきました。すると、お母さんの声で目覚めたクリスマスの朝、家の白い鳥が青い鳥に変わっていた、という内容です。幸せは身近に、もともと自分の中にあるというメッセージが込められている物語です。日本では青い鳥が幸せの象徴として理解されていますが、西欧の世界においては希望や平和、愛や真理など、さまざまな理解として解釈されています。私はこの青い鳥のことを、それらすべてのことの与え主であるキリストとして読むこともできるのではないかと思います。

今日の福音書の物語は、家の「中」と「外」を舞台として展開されます。家の「中」にはキリストが人々と神の国について語り合っている場面として希望と喜びに満ち溢れています。その半面、「外」からはキリストが悪霊に取りつかれているという噂を聞いて訪ねてきた母マリアと兄弟姉妹による心配と不安が感じられます。聖書に出てくる「家」というものは単に物理的な空間としての住まいだけではなく、人間存在そのものを象徴するキーワードでもあります。それゆえ、相反する雰囲気のある家の「中」と「外」のことは、今の自分の心理や霊的な状態を表してくれるものとして読み取ることもできます。

中世を代表する女性霊性家、ノリッジのジュリアン(Julian of Norwich, 1342?-1413?)はこう歌いました。“神様は、ご自身が私たちと共にいることを私たちが信じてくれるよう望んでおられる。神様は三つのパターンで私たちと共におられる。一つ目は天の国にて、二つ目はこの世でのささやかな瞬間瞬間に、三つ目は私たちの深い内面、つまり魂の中で私たちと共におられる。神様はいつも共にいて私たちを守り導いてくださる。”ジュリアンの話のよういつどこにおいても、どのような状況だとしても自分がいるところには、ことに私たちの魂の中にはキリストも共におられます。それゆえ、これ以上、「外」でキリストを探し求める必要はありません。まるで青い鳥のようにすでに「中」におられる方を「外」で探し求めることは愚かなことです。

13世紀のペルシアの詩人、ルーミー(Rumi, 1207-1273)が“私が私自身を愛するのであれば、それはあなたを愛することであり、私があなたを愛するのであれば、それは私自身を愛することなのです。”と歌ったように、私たちにとってキリストは自分が認識している自分より近い存在です。青い鳥が家の「外」ではなく「中」に生きているように、愛し合っている私たちとキリストは、もはや別々の存在ではないのです。

(※聖書は裏面に記載されています)

<福音書> マルコによる福音書 3章 20~35節

20 イエスが家に帰られると、群衆がまた集まって来て、一同は食事をする暇もないほどであった。21 身内の人たちはイエスのことを聞いて、取り押さえに来た。「気が変になっている」と思ったからである。22 エルサレムから下って来た律法学者たちも、「あの男はベルゼブルに取りつかれている」と言い、また、「悪霊の頭の手で悪霊を追い出している」と言っていた。23 そこで、イエスは彼ら呼び寄せて、たとえを用いて語られた。「どうして、サタンがサタンを追い出せよう。24 国が内輪で争えば、その国は立ち行かない。25 また、家が内輪で争えば、その家は立ち行かない。26 もしサタンが内輪もめして争えば、立ち行かず、滅びてしまう。27 また、まず強い人を縛り上げなければ、誰も、その人の家に押し入って、家財道具を奪い取ることはできない。まず縛ってから、その家を略奪するものだ。28 よく言うておく。人の子らが犯す罪やどんな冒瀆の言葉も、すべて赦される。29 しかし、聖霊を冒瀆する者は永遠に赦されず、永遠の罪に定められる。」30 イエスがこう言われたのは、「彼は汚れた霊に取りつかれている」と人々が言っていたからである。

31 イエスの母ときょうだいたちが来て外に立ち、人をやってイエスを呼ばせた。32 時に、群衆がイエスの周りに座っていた。「御覧なさい。お母様と兄弟姉妹がたが外であなたを捜しておられます」と知らされると、33 イエスは、「私の母、私のきょうだいとは誰か」と答え、34 周りに座っている人々を見回して言われた。「見なさい。ここに私の母、私のきょうだいがいる。35 神の御心を行う人は誰でも、私の兄弟、姉妹、また母なのだ。」